

品質管理課の紹介

品質管理課は、種子の品質検査業務及び種子商品の品質検査業務と、種子品質向上方法の開発、種苗法等種子流通に係る諸法令の励行指導を主たる業務としております。

現在牧草種子・野菜種子・緑肥種子・野草種子・植生樹木種子等の品質検査サンプル点数が年間約3,500点、検査項目約点数8,000点を実施しております。

又自社種苗品質管理規定に定められている、種子発芽検査・種子純度検査を、国際種子検査協会規約基準（ISTA）に準じて検査を実施しており、自社種苗品質管理規定に基づく種苗の仕入れ、商品の流通の為の検査を日々実施しておりますが、現在種子は国際的な流通の中にあり、北半球はもとより南半球からの入荷、又亜熱帯・熱帯等気候条件の異なる地域からの入荷があり、種子特性として休眠・硬実等の種子サンプルの入庫もあるので、的確な種子の評価を行う為、いろいろの方法（低温処理・薬品処理等）で種子発芽の評価を実施しております。

写真1で示しましたのが、バヒアグラスのように通常の試験方法では新鮮不発芽が多い草種については、硫酸処理の時間をISTA検査基準2分とは別に、何種類かの処理時間にして評価参考データとしております。

又飼料用トウモロコシ・スイートコーン・エダマメのように播種期が早まっている品目については、実際栽培で早播きしても出芽が確保されるよう、低温発芽性の検定を実施しております。

写真2で示した飼料用トウモロコシは、土壌を粉衣し低温条件下で一定期間置き、その後通常発芽温度帯に変温し、発芽状況・土壌菌による障害状況を判定しております。



写真1 バヒア硫酸処理発芽状況



写真2 トウモロコシコールドテスト試験発芽状況



写真3 トウモロコシ通常発芽試験状況

写真3には園芸作物の幼苗検定を発芽試験室で実施しております。

野菜種子は、通常発芽のみならず実際圃場での出芽が問題になり、研究部門と連携して検査を実施しております。

農業を営むものにとって、特性の明確な品種は重要になり、表示開示している品種特性を利用して、栽培体系を組みながら農業生産を進めるわけですから、種子を提供し品種を開示しながら商品をお届けするものとして、種子の遺伝的純度に係る検査も重要な検査項目となります。現在研究部門との連携で取り組んでおり、ユーザーの方々に安心してお届けできる種子としての商品管理に勤めております。



写真4 発芽試験室幼苗検定状況



早生チモシー

ホライズン
HORIZON——「地平線」

早生チモシー
ホライズン

HORIZON

SBT9502

北海道優良品種

「ホクセイ」の収量性をさらに改良
1番草が多収、2番草は極多収！



雪印種苗株式会社

牧草新品種発売予告!!

晩生オーチャード
「バックラス」

BACCHUS

SBO9504

北海道優良品種

病害に強く、越冬性良好の多収品種！

2006年より販売開始予定!

晩生チモシー
「シリウス」

SIRIUS

SBT9504

北海道優良品種

直立型のボリュームある採草用晩生品種！

2006年より販売開始予定!



雪印種苗株式会社

〒004-8531 札幌市厚別区上野幌1条5丁目1番8号 ☎(011)891-5911(代)・FAX(011)891-5774

<http://www.snowseed.co.jp/> E-mail:Inquire@snowseed.co.jp

お問い合わせ 北海道研究農場 ☎(0123)84-2121 E-mail:Takashi.Yamazaki@snowseed.co.jp